

駿東報聞

第12号
H20.1月

発行人
医療法人社団
すしとある

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上ります。

今年の冬は暖かい日と寒い日の差が極端の様に体感しております。

地球が体調を崩しているのか知りません…。

新年早々、暗い話もなんぞして、明るい話題にしきましょう。

当院の理学療法室にて、いつも元気な笑顔をふきそえてくれている森山さんが、今年は年女ということで、ためになるお話をしてくれました。ではどうぞ。

レブリーフの泉

明けましておめでとうございます。

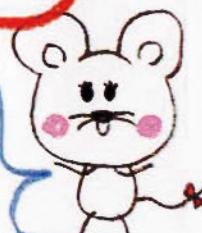
今年は子年という事で年女である私の話に少しあつまいかい下さい。

年女というと、あ、という間に年齢がわかってしまいますね。女性が何人か集ると、

「Aさんは子年だから○ちゃんよ。」とか、「Bさんて、ヨロ音口してて子年、ほいよね~」など、十二支の話でかなり盛り上がる事があります。

そもそも十二支のそれとは、一年の季節の巡りに伴う、自然界の命のサイクルを表すとされているそうです。か駄染めの十二支歌のイメージが定着したのは、丸元90年頃と言われ、後漢の王充という人が、十二支のそれそれが表す概念に近いイメージの動物をあてはめて普及を図ったとされています。(本物ではないよ!)今振り返ってみると私の生まれた1972年は第二次ベビーブームで、同じ位の年の子が沢山いました。今とは違い、外で遊んでいる子も沢山いて、近所は子供達であふれていた様な気がします。一回目の年女になる12才の時は友達も塾に行き始める。母親からも「勉強しない!」と、よく怒られた記憶があります。あの頃は、何てうるさい母親だろ!と思っていましたが、今となって自分が子供を育ててみると、母親の気持ちがわかる様な気がします。

24才は結婚ブームでした。その頃、クリスマスケーキは、クリスマスには高価で売れるけれど、残ったケーキはなかなか売れないという話題もあって、ほとんどの友達が24・25才で結婚しました。



そして、今年三四目の年女、36才になりましたが、今では子供にも手がからなくなり自分の為に使う時間が増えました。その時間を使って、私なりに群れる時にしたいです。

「光陰矢のごとし」とあります。年を重ねる度に一日が早く過ぎていくことを実感します。48才・60才になって振り返った時、後悔する事のない想い、毎日を大切に過ごしていくたらいいなと思います。

みなさん、今年もよろしくお願いします。



院長の一言

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひ申し上ります。

今年の干支は「子(ねずみ)」。十二支の一歳最初ですね。12年で1順するというのは、何とも東洋的な印象を受けます。森羅万象、人間の成長などをじっくり見つめ、それらの間に周期性、さらには12年で1区切りとした新たな発展段階・節目を迎えることなどを、悠久の歴史の中で見出したのがりません。

天を地獄・株式市場・政治などは干支に絡めて語られることが多い様です。さて、今年の年女は理療の森山さんです。いつも元気で階段まで笑い声が聞こえています。今年もこれまでのようによく会ってくれることを期待しております。

Hiromi's Room 2

私事ですが、今年平成20年1月30日に成人式を行ってました。私もとうとう大人の仲間入りをしました。私は福島県市民だ。なので福島市の成人式に参加してきました。朝の4:30に起きて美容院で眠たいながら髪のセット、メイク着付けをしてもらい、いざ成人式へ!

中学を卒業してから1度も会っていなかた友達と感動の再会をし、いつのまにかみんな大人、よく振袖の似合う女になっていました。みんなで写真をとり、昔の話をしたり、「今、何やってるの?」と聞きあり、久しぶりに話をし、とても楽しい1日でした。百合 成人をむかえたということで、大人としての自覚を持て何事にも取り組んでいきたいです。

最後に、みなさん今年もよろしくお願いします!!

